

## 科学研究費助成事業 研究成果報告書

平成 28 年 5 月 31 日現在

機関番号：33919

研究種目：挑戦的萌芽研究

研究期間：2014～2015

課題番号：26580059

研究課題名(和文)ヘミングウェイ博物館(キューバ)における「書き込み」資料デジタル・アーカイブ構想

研究課題名(英文)Establishing the digital archive of marginalia in paper materials in the Hemingway museum in Cuba

研究代表者

柳沢 秀郎 (Yanagisawa, Hideo)

名城大学・外国語学部・准教授

研究者番号：40647989

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 2,700,000円

研究成果の概要(和文)：本研究は、キューバのヘミングウェイ博物館の蔵書内に存在する「書き込み資料」(marginalia)を劣化による散逸から保護するため、それらをデジタル化し、かつ検索データベースを構築する取り組みである。2014年4月から2015年3月にかけて博物館が現時点で把握している「書き込み資料」総数1337アイテム全てのデジタル化を完了した。その後それらを多角的に検索できるデータベースを完成させ、2016年3月に博物館に寄贈した。

研究成果の概要(英文)：The purpose of this project is to conserve the handwritten marginalia in the books located in the Hemingway Museum in Cuba by a process of digitization and to establish a digital archive. A total of 1337 items, listed in the museum's inventory, were all digitized from April 2014 to March 2015. And the creation of a searchable database was completed and the laptop with the database installed was donated to the museum in March 2016.

研究分野：人文学

キーワード：Hemingway marginalia 蔵書研究

## 1. 研究開始当初の背景

戦後の日本が『老人と海』を文部省特選映画に選定し、多くの教育機関がその視聴を促され、また小説の一部が中学校の国語の教科書に採用されるなど、アメリカの文豪アーネスト・ヘミングウェイは教育史的にも日本との関係が深い作家である。このヘミングウェイについて、報告者は平成25年度(2013年)の科学研究費公募で「ヘミングウェイ博物館蔵書における自筆書き込み調査とそのデジタル・データベース化」と題した研究課題を申請し採択された。報告者はその際の学術的背景と申請理由を、(1)「書き込み」(marginalia)が存在する高い可能性、(2)蔵書の深刻な劣化、(3)本研究に対するヘミングウェイ博物館からの正式な許可と協力の確約が得られた、の3点に要約した。本研究は、上記課題の研究活動を継続するためのものであったが、2013年8月に実際にキューバで実施した研究活動の結果を踏まえ、上記3点をそれぞれ、(1)約1400アイテムに及ぶ「書き込みリスト」の使用許可、(2)デジタル化作業の始動、(3)キューバ文化庁からの許諾と正式な委任へと修正することとなった。

(1) 2013年度の申請において、報告者は約9000アイテムと言われている蔵書資料に対して「書き込み」の有無を確認する調査の必要性を説いたが、2013年8月実施のデジタル化作業に先立ち、館内の「書き込み」アイテム全てを収録した「書き込みリスト」が博物館より提示され、その使用が許された。しがたつて、9000アイテムの全てに目を通す必要がなくなり、作業期間の大幅な削減が期待できた。

(2) この「書き込みリスト」に従って、報告者は2000アイテムに及ぶ「書き込み」のデジタル化を2013年8月6日に開始した。結果、455アイテムに対してデジタル化(総撮影画像数2602枚)およびPDF編集を終えたが、そのなかには、すでに劣化が著しいものもあり、残り75%のアイテムもデジタル化が急務であるこ

とを実感した。

(3) 報告者は、当プロジェクトのデジタル化作業に先立ち、キューバ政府文化庁に招かれ、文化庁長官Gladys Maria氏と面会した。その際、“The Hemingway DAPTA (Digital Archives Project for Text Annotations) in Finca Vigia, Cuba”と題したプレゼンを行い、当プロジェクトに関する長期的研究活動の許諾および正式な委任をGladys長官本人より直々に賜った。

(3) そうした理由から報告者は兼ねてより、全蔵書の「書き込み」調査とそのデジタル・データベース化について、その許可および研究活動への協力を要請していた。そして、2012年10月2日、ヘミングウェイ博物館館長Ada Rosaより研究活動への同意と協力を承諾いただき、この度の科学研究費に申請するに至った。

## 2. 研究の目的

本研究の全体構想は、キューバのヘミングウェイ博物館(アーネスト・ヘミングウェイ旧邸)が所蔵する①およそ1400アイテムに及ぶ「書き込み資料」をすべてデジタル化することで、劣化、散逸が危ぶまれるヘミングウェイ研究の第一級資料を恒久保存し、②そのデジタルデータをアーカイブ化することで、世界中の研究者が閲覧できるようにすることであった。

本研究は、上記構想の①の段階としてすでにデジタル化を終えた455アイテムと同様に、今後の2年間で残り全アイテムに対してデジタル化、および閲覧用PDF編集を行い、この作業と並行して、「書き込み」資料を検索できるデジタル・アーカイブを構築し、日本およびキューバのヘミングウェイ博物館で自由に検索閲覧できる環境を整備するまでを最終目標とした。

## 3. 研究の方法

### I. デジタル化実施手順

(1) 博物館専属の司書が「書き込みリスト」に従って、該当箇所よりアイテムを作業場に搬入。

(2) 博物館専属の学芸員がリストを参照しながら、ラベリングバー（図1：報告者考案）にリストで使用されている「ID番号」と「ページ番号」とをラベリングし、「書き込み」資料とともに報告者に手渡す。



図 1

(3) デジタルカメラとスキャナーをパソコンで制御した「デジタル化専用機器（図2：報告者設計）」を用いる。アイテムの状態や色調を考慮の上、カメラかスキャナーを使うか適宜判断し（黒色や濃い茶色いブック・ジャケットやカバーなどの撮影はスキャナーには適さない）、各アイテムにつき①タイトルペー



図 2

ジ、②出版データページ、③「書き込み」ページの順序で撮影。

(4) 画像はその場で確認。不備があれば再度撮影。

(5) 撮影終了後、上記①②③を統合したPDFファイル（ファイル名はID番号）をアイテムごとに作成。

(6) 作成したPDFファイルの個数およびそのファイル番号がリスト上の作業記録と合致しているか確認し、不備があれば再度撮影した。

## II. デジタル・データベースの作成

報告者は、Microsoft 製のAccess と呼ばれるデータベースソフトウェアを用いて、検索用デジタル・データベースを作成した（図3）。

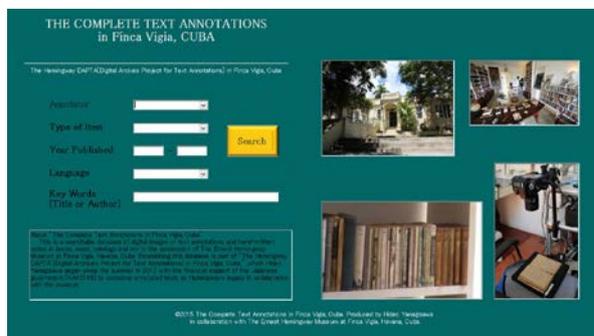


図 3

「書き込み」情報は、メタ・データとしてデータベースに記録する。メタ・データは「ダブリンコア」と呼ばれる国際基準に基づき 17 項目で構成される（図 4）。

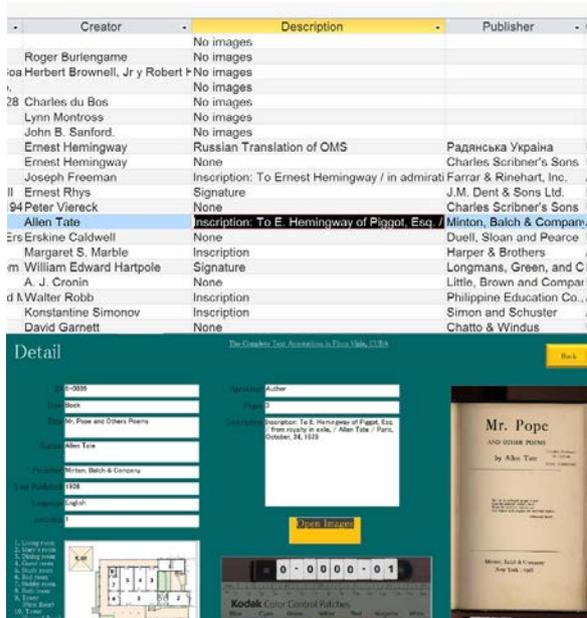


図 4

#### 4. 研究成果

上記研究活動の結果、以下3点の達成に成功した。①ヘミングウェイ博物館が所有している1337アイテム全てのデジタル化、②デジタル化した画像を検索閲覧できるデータベースの構築、③②のデータベースを内蔵したノートパソコンの博物館への寄贈。

#### 5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[学会発表] (計 1件)

①

発表者名: 柳沢秀郎

発表標題: “The Hemingway DAPTA  
(Digital Archive Project for Text  
Annotations) in Finca Vigia,  
Cuba”

学会名: The 15th Ernest Hemingway  
Colloquium ( Hotel Palacio  
O’farrill, Havana, Cuba)

発表年月日: 2015年6月21日

#### 6. 研究組織

##### (1)研究代表者

柳沢 秀郎 (YANAGISAWA, Hideo)  
名城大学・外国語学部・准教授  
研究者番号: 40647989

##### (2)研究協力者

ネストル (Néstor Álvarez Gárciga)  
ヘミングウェイ博物館・コンサバター

イアルベルト (Idalberto Batista Bles)  
ヘミングウェイ博物館・司書

チェイラ (Sheila Álvarez Gárciga)  
ヘミングウェイ博物館・学芸員

ケニア (Kenia Máscaró Cantero)  
ヘミングウェイ博物館・学芸員

イズベル (Isbel Ferreiro Garit)  
ヘミングウェイ博物館・上級学芸員